

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	釧路港における安全で利便性の高い物流ネットワークの形成											
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)											重点配分対象の該当 <input checked="" type="checkbox"/>
交付対象	釧路市											
計画の目標	釧路港と背後圏を繋ぐ主要なアクセス道路の改良により、利便性の高い物流ネットワークを形成する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	168	A	168	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標) 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	臨港道路の更新率を0% (R2)から100% (R6)にし利便性を向上させる。 臨港道路の更新が必要な部分の対策済となった割合を算出する。 更新が必要な部分の対策率(%) = (対策済み延長(m) / 計画期間内の更新の必要な延長) × 100	0%	41%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

所管部署により評価を実施。

事後評価の実施時期

事業完了後

公表の方法

評価完了後、釧路市ホームページに掲載。

事業効果の発現状況

定量的指標に関する
交付対象事業の効果の発現状況

事業実施により危険個所・区間が解消され、健全かつ安全な港湾環境が形成された。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

施設の機能回復により利用者の利便性が向上した。

特記事項（今後の方針等）

臨港道路を整備することにより、機能回復を図り、健全かつ安全で利便性の高い物流ネットワークを形成する。

案件番号：

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	